

インドネシア水道に係る情報収集 No. 200401-3J

検索サイト	Google	実施日	2020/04/01	実施者	TADOKORO
検索方法：「インドネシア AND 水環境」で検索（「インドネシアの水環境」と表示される）					
URL： http://wepa-db.net/jp/publication/3rd_report/WEPA_3rd_report_j_190408.pdf					
標題： WEPA 第3期 報告書 - Water Environment Partnership in Asia 環境省 公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）					
アジア水環境パートナーシップ Water Environment Partnership in Asia (WEPA) の第3期報告書 《インドネシア関係記事例》 3. 水環境管理の状況分析 3.3 産業排水管理 ③ インドネシア：2017年から2018年にかけて、1,872事業者を水質汚濁管理評価及び格付（PROPER）制度で評価したところ、13%の事業者で環境規制が遵守されていないことが判明した。小規模の事業者・企業を対象にした汚染防止政策が整備されていないことと、排水処理施設の処理能力が不十分なことが、河川水域の深刻な汚染の原因となっている。インドネシア政府はこの問題を優先課題として取り組んでおり、様々な規則・政策の実施・改訂を行っている。例えば、排水処理の改善のため、排水の水質基準に関する5ヵ年命令を環境省が2014年に出した。					
4. WEPA アクションプログラム 4.4. インドネシアチタルム川の 汚染負荷管理					
<h3 style="color: #00AEEF;">4.4.1. 概要</h3>					
アクションプログラムの名称	インドネシアにおける一日最大負荷量（TMDL）の排水許可への適用と自治体関係者のTMDL実施能力の構築				
アクションプログラムの期間	2018年～（継続中）				
アクションプログラムの実施地域	チタルム川流域				
プログラムを担当するWEPAフォーカルポイント	Budi Kurniawan インドネシア国環境森林保護省 インベントリ・汚濁負荷割当課次長				
備考 WEPA 加盟アジア諸国の水環境全般を知る上で有用な情報。					